事業番号 471

	平成23年行政事業レビューシート (外務省)															
	業名	日露問題懸案及び重要国際問題に関する協議			担当部	局庁				作成責任者			者			
	関始・ ア定)年度			・平成22年度終了		担当課室			ロシア課			課長	岡野	正敬		
会記	会計区分		一般会計				施策		I-4 欧州地域外交							
根拠法令 (具体的な 条項も記載)		外務省設置法第四条第二号				通知	<b>関係する計画、</b> <b>通知等</b> 「日露行動計画」(平成15年1月)									
事業の目的 (目指す姿を簡 潔に。3行程度 以内)		新しい日露関係を切り拓くため、日露間の協力分野の拡大及び協力の深化を目指し、両国実務担当部局間で協議し、既に進んでいる協力を レビューするとともに、更なる協力の方向性を示していくことを目的としている。例えば、日露間で実施している四島交流の運営に際して生じる事 案など、その時々に発生する二国間の懸案事項を事務レベルで協議し問題の解決を図る。														
事業概要 (5行程度以内。 別添可)				−分突っ込ん の外国旅費。		まで行うことがて	きない	いような, そ	の時 <i>*</i>	<b>々の日露間の懸案</b> 事	写項の例	解決をはかる	らための協	議を行う		二職員が
実施	<b>医方法</b>	■直	接実施		]業務	委託等		□補助		口貸付	<b>□</b> ₹	の他				
						20年度	丰度			22年度		23年度		24年度要求		
		予算の				2		2		1		_			-	
<b>3.</b> 1	庫額·		$\sigma$			-		_		_						
執	行額	状	伏   繰越し等   -		_	-			_	_						
(単位	:百万円)	況		計		2		2		1						
			執行額			0.2		2		-	_					
		執行率(%)		(%)		13%		77%		0%	0%					
		成果			指標				単位	20年度	2	21年度	22年	度		標値 年度)
成男		成果目標:新しい日露関係の開拓、並びに日露間の協力分野の拡大及び協力の深化。 成果実績:本件事業実施の直接的効果を測定					成果実績	人	14		5	6				
(アウトカム)		成未失順:本計事未失施の値接的効果を測定することは困難なるも、日露二国間関係の推移を知る上で参考として日露要人往来数を挙げることができる。					達成度	%	350		36	120	)			
		活動			動指標				単位	20年度	2	21年度	22年	度	23年度	活動見込
活動	<b>旨標及び</b> 助実績 トプット)	協議実施回数・実績						活動実績(当初見込		モスクワ1回	÷2	スクワ1回	0			_
								み)				(		ワ1回)(		)
単位当たり コスト		(円/ )			算出根拠 平成22年度は実績無し。											
平成23・24年度予算内	費目			目 23年度当初予算 24年度要求			主な増減理由									
											-	-				
訳	= 計		_		_											

事業所管部局による点検									
	評価	項目	特記事項						
目的	0	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。							
状・況予	0	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業 ではないか。							
算の	0	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。							
資金	_	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。							
O O	_	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。							
使れ、	_	受益者との負担関係は妥当であるか。							
費	_	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。							
日	_	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。							
活	_	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。							
動実	_	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。							
績	_	活動実績は見込みに見合ったものであるか。							
成果実績	_	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか							
実績	_	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。							
点検結果	本件は, イ	他の出張機会に行うなどして経費節約を図ることとし、廃止した。							
	I	予算監視・効率化チームの所見							
		-							
		上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概	算要求における反映状況等)						
-									
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)									

	※平成22年度実績を記入
<b>資金の流れ</b> (資金の受け取	
り先が何を行っ	
り先が何を行っ ているかについ て補足する)(単 位:百万円)	
位:百万円)	

		A.			E.			
	費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金額(百万円)		
			(17311)			(17311)		
			0	計		0		
	ĒΙ		0	ĒΙ	-	0		
	# 0	B.	金額	# 0	F	金 額		
	費目	使 途	(百万円)	費目	使 途	(百万円)		
<b>費目・使途</b> (「資金の流れ」								
リーナソングデロー								
において最大の クででは、 大きに、最大されていいで、 で記載する。費 目と使途の双方で実情が分かる ように記載)								
を ないる者につい								
て記載する。費 目と使途の双方								
で実情が分かる								
よりに記載)	計		0	計		0		
		C.	I	G.				
	費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金額(百万円)		
			(17311)			(17311)		
	計		0	計		0		
	ĒΙ	D.	0	ĒΙ	H.	0		
	費目	使途	金額(百万円)	費目		金額		
	具 口		(百万円)	其 口	汉 迩	金額(百万円)		
	計		0	計		0		

## 支出先上位10者リスト A.

A.					
	支 出 先	業務概要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					